

**2021年度**  
女子美術大学 芸術学部

**総合型選抜**  
**学生募集要項**

\*2021年度学生募集要項は、5月20日時点の内容となります。  
試験については、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、やむを得ず  
日程・実施方法等が変更となる場合があります。  
変更がある場合は本学WEBサイトにて随時お知らせいたしますので、出願の  
際はあらかじめ最新情報をご確認くださいようお願いいたします。  
なお、出願登録期間終了後に変更が生じた場合は、登録されたアドレス宛に、  
個別にEメールにてご連絡いたします。



## 目次

2	アドミッションポリシー 入学定員
3	入学者選抜方針
4	出願
7	受験
13	合格発表
14	入学手続 入学前課題
15	その他

## アドミッションポリシー（求める学生像）

美術・デザインに深い興味を持ち、専門家としてそれぞれの分野で活躍することを目指す人、芸術によって社会に貢献し自立したいという意欲のある人材を求めます。

求める資質・能力としては、芸術に対し自由で柔軟な考え方を持っていること、対象をよく観察し理解する眼を持っていること、問題意識を持ち自ら考える姿勢を持っていること、個性を素直にのびのびと表現できることが挙げられます。

## 入学定員

### 大学 芸術学部

学科	定員	専攻・領域	入学後のキャンパス
美術学科	190名	洋画専攻	相模原（神奈川）
		日本画専攻	
		立体アート専攻	
		美術教育専攻	
		芸術文化専攻	
デザイン・工芸学科	220名	ヴィジュアルデザイン専攻	相模原（神奈川）
		プロダクトデザイン専攻	
		環境デザイン専攻	
		工芸専攻	
アート・デザイン表現学科	160名	メディア表現領域	杉並（東京）
		ヒーリング表現領域	
		ファッションテキスタイル表現領域	
		アートプロデュース表現領域	

# 入学者選抜方針

多様な個性を持つ人材を受け入れることを目的として、学力の3要素である「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重視し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を含めて総合的に優れた人材を求めます。

## 募集人員

学科	専攻・領域	
美術学科	洋画専攻	20名
	日本画専攻	3名
	立体アート専攻	2名
	美術教育専攻	5名
	芸術文化専攻	2名
デザイン・工芸学科	ヴィジュアルデザイン専攻	14名
	プロダクトデザイン専攻	6名
	環境デザイン専攻	2名
	工芸専攻	7名
アート・デザイン表現学科	メディア表現領域	13名
	ヒーリング表現領域	8名
	ファッションテキスタイル表現領域	7名
	アートプロデュース表現領域	5名

## 選考方法

提出書類により1次審査を行い、2次審査では、体験プログラムと課題等持参による面接を基に総合的に判定します。

## 評価基準

提出書類では、学業成績に加え、課外活動の状況、文章による表現力などを重視し、体験プログラム・面接では、事前課題に関する理解力や取り組み姿勢、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、修学意欲、目的意識などを重視します。



## 出願

- 「ネット出願手順」に従って出願登録を完了し、印刷した必要書類とその他の提出書類を定められた期間内に郵送してください。

**出願資格** 2021年3月31日までに、次のいずれかに該当もしくは該当する見込みで、美術・デザイン等に深い興味を持ち、本学入学を強く希望する女子に限ります。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方
- ②通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了した方
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した方もしくはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
- ④文部科学大臣が認定した在外教育施設の課程を修了した方
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した方
- ⑥高等学校卒業程度認定試験（旧規定による大学入学資格検定含む）に合格した方で、2021年4月1日に満18歳に達している方
- ⑦国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格・GCE-Aレベルのいずれかを保有する方
- ⑧上記①～⑦のいずれにも該当せず、本学において高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、2021年4月1日に満18歳に達している方

※出願資格⑧については、事前に審査が必要ですので、出願登録開始前までに女子美入試センターへご相談ください。

## 出願要件

- 本学を第1志望とし、合格した場合は必ず入学すること。
- 外国人留学生の場合は、以下①または②のいずれかに該当すること。
  - ①日本学生支援機構が運営する「日本留学試験（EJU）」の「日本語」で、読解（200点）＋聴解・聴読解（200点）計400点満点中320点以上、記述（50点）は40点以上を取得していること。  
\*2019年6月・11月、2020年6月（Ⅱ期は11月含む）実施のいずれかの試験を対象とします。
  - ②国際交流基金・日本国際教育支援協会が運営する「日本語能力試験（JLPT）」において、N1に合格していること。  
\*2018年12月、2019年7月・12月、~~2020年7月~~実施のいずれかの試験を対象とします。

## 出願上の注意

- 日程については第Ⅰ期・第Ⅱ期の2回としていますが、専攻・領域によっては第Ⅱ期を実施しないことがあります。  
第Ⅱ期実施の有無については12月18日（金）に決定し、本学WEBサイトでお知らせします。
- 登録完了後の変更は認められませんので、入力の際は十分に確認してください。
- 一度納めた検定料および提出書類は返還いたしません。
- 登録完了後、定められた期日までに書類の提出がなかった場合は失格となります。  
失格となった場合も検定料の返金はできませんので、登録の際は書類送付の日程に注意してください。
- 出願資格を取得見込みの方で、2021年4月1日までに取得できなかった場合は、合格しても入学することはできません。
- 外国人留学生は、本学で学ぶために支障のない在留資格を取得することができない場合、合格しても在籍できません。
- 受験票については、次ページ「ネット出願手順」の「受験票の印刷」部分を確認してください。
- 登録時に入力されたアドレスは、必要に応じ本学から連絡をする際にも使用します。  
ドメイン（@venus.joshibi.jp）を受信指定してください。  
迷惑メール対策等により、通常の受信ボックスから確認ができない場合や、メール自体が届かない場合がありますので注意してください。

**出願登録期間** 第Ⅰ期 2020年 9月14日（月）10：00～9月23日（水）13：00  
（第Ⅱ期 2021年 1月18日（月）10：00～1月24日（日）13：00）

**検定料** 30,000円

# ネット出願手順

学生募集要項で選択科目の有無などの内容をよく確認し、登録作業を始めてください。

- ※出願登録にあたってはPCメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・証明写真データが必要です。
- ※出願登録後の変更・取り消し、検定料の返金はできません。STEP 2では入力内容を十分に確認してください。  
検定料の支払い前に入力内容の誤りに気付いた場合は、検定料を納入せずに出願情報を再入力してください。
- ※出願登録が完了した時点で出願を受け付け、自動的に受験番号が決定します。
- ※受験番号は出願情報入力完了時の「受付番号(12桁)」とは異なります。

写真は、本人確認を行うためのものです。  
また、入学された場合は学生証にも使用しますので、以下の点に注意してください。

- ・無帽、正面、無背景の証明書用写真であること
- ・本人確認が可能な鮮明なものであること
- ・白黒、カラーは問いません
- ・学生証に使用する上で不適切な写真の場合、入学後に写真を変更して再発行することは可能ですが、再発行の手数料は自己負担となります。

不適切な例：スナップ写真の一部を切り取っている  
前髪等で顔が隠れている など



## 出願登録

### STEP 1 ネット出願サイトへアクセス

本学WEBサイト ▶ <https://www.joshibi.ac.jp>  
から出願サイトへアクセス



### STEP 2 出願情報の入力

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
- ③入力が完了すると、登録したアドレスに「出願サービス支払い手続きのご案内」メールが送信されますので、受付番号(12桁)・検定料のお支払期限を確認してください。



### STEP 3 検定料のお支払い～登録完了

- ①STEP 2で受信したメールに記載されたURLにアクセスし、検定料のお支払方法を選択してください。 ※お支払いに必要な情報は必ず控えてください。
- ②画面に従って、検定料をお支払いください。 ※検定料の他に手数料がかかります。  
選択できるお支払い方法
  - ▶ コンビニエンスストア
  - ▶ ネットバンキング
  - ▶ ペイジー対応銀行ATM
  - ▶ クレジットカード

## 提出書類の送付



### STEP 4 各用紙をA4サイズで印刷

- 「志願票の印刷」にアクセスして「web志願票」などの必要な用紙を印刷してください。
- ※ページの拡大／縮小は「なし」で印刷してください。
  - ※「自動回転と中央配置」にチェックを入れてください。
  - ※封筒貼付用宛名シートはカラーで印刷してください。



### STEP 5 提出書類の送付

STEP 4で印刷した用紙と、「調査書」や「証明書」など、定められた提出書類を郵送(簡易書留・速達)で定められた期間内に到着するように送付してください。

- ※定められた期間内に提出の無い場合は失格となります。
- ※郵送にかかる日数を考慮して、証明書などは早めに準備してください。
- ※提出書類は、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた任意の角2封筒に封入してください。

## 受験票の印刷 ※郵送はしません。

書類送付締切日以降、提出書類の確認が取れた方には、登録されたアドレスにメールで通知します。  
メールを確認後、ネット出願サイトから受験票をダウンロードし、必ずA4サイズの用紙に印刷して試験当日持参してください。  
受験上の注意なども記載していますので、試験の前日までに印刷して必ず確認してください。

## 提出書類

### ①Web志願票（印刷したもの）1枚

※「ネット出願手順」に従い、登録を完了し、印刷してください。

### ②出願資格を証明する書類および高等学校在学期間（3年間）の学業成績証明書

※証明書類は出願資格により異なるため、以下の該当する書類をご確認ください。

出願資格①②④に該当する方

・調査書（出身学校長作成）

※既卒者で発行可能な期間を過ぎている場合や、被災等の事情により提出が困難な方は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。成績証明書も提出困難な場合は、その事由を記した当該学校からの書類を提出してください。

出願資格③に該当する方（以下3点）

・卒業（見込み）証明書（日本語または英語）

・成績証明書（日本語または英語）

・学習歴に関する書類

※「卒業（見込み）証明書」について、中国大陸（香港、マカオ、台湾を除く）の学校を卒業した方は、中国高等教育学生信息网（CHSI）の「Verification Report of Secondary Education Qualification certificate（学歴認証報告書）」を提出してください。

CHSI日本代理機構で申請する場合は英語版の原本を提出、中国のウェブサイト申請する場合は英語版（Online Verification Report of Student Record）のデータを取得し印刷したものを提出してください。

中等専門学校を卒業した方は、学歴認証報告書の代わりに、高考試験成績認証（英語版）を提出してください。

※「成績証明書」については、日本の高等学校に相当する3年間の成績が必要です。

※「学習歴に関する書類」については、帰国子女の方は「志願者身上書」（本学所定）、外国人留学生の方は「外国人留学生入学志願者調査書」（本学所定）を提出してください。

出願資格⑤に該当する方

・調査書に準ずる書類

※提出が困難な場合は、修了（見込み）証明書および成績証明書を提出してください。

出願資格⑥に該当する方

・合格（見込み）成績証明書

※免除科目がある場合は併せて当該学校の成績証明書が必要です。

出願資格⑦に該当する方

・ディプロマおよび成績証明書

出願資格⑧に該当する方は事前相談の際に確認してください。

### ③志望理由・活動報告書（本学所定）

### ④キャリアイメージシート（本学所定）

### ⑤自己アピール資料

※A4サイズの内紙（片面）1～5枚で、ファイル等には入れないこと。

※内容は文章、写真、イラスト、賞状のコピー、資格証明など自由とする。

### ⑥特別な配慮を希望される方のみ配慮希望申請書（本学所定）および診断書

受験時や入学後の修学における特別な配慮を希望する方のみご提出ください。

「配慮希望申請書（本学所定）」はあらかじめオープンキャンパスや進学説明会等を利用して、本学の授業形態やキャンパスの施設・設備等をご確認いただき、具体的な内容について事前相談の上記入してください。所定用紙は事前相談の際にお渡しいたします。

また、事前相談の内容により配慮の上で参考となる資料を別途添えていただく場合があります。

事前相談による申請が無かった場合、受験および入学後の修学において対応ができないことがありますので、あらかじめご了承ください。

※事前相談については女子美入試センターまでお問い合わせください。 ☎042-778-6123

なお、この事前相談は、障がい等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験および修学にあたってより良い方法を相談するものであって、合否判定とは一切関係ありません。

### ⑦外国人留学生の方のみ以下の書類（3点）

・出願要件を確認する書類

※「日本留学試験（EJU）」の場合は受験票のコピー（用紙：A4 サイズ）、「日本語能力試験（JLPT）」の場合は認定結果および成績に関する証明書（原本）

・本人確認のための書類

※パスポートの本人確認ができる写真付ページのコピー

・受験の際の在留資格・期間が確認できる書類

※在留カード両面のコピー、住民票、入国査証・証印のコピーのうちいずれか1点

※出願時に日本に入国していないなど、提出できない場合は、理由を記入したメモを提出書類に同封し、試験当日に入国査証・証印のコピーを受験票再発行所まで持参してください。

## 提出書類に関する注意

- 証明書類は発行後3ヶ月以内の原本を提出してください。
- 証明書類が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、大使館または国で認可された公証役場で公証を受けた翻訳文（日本語または英語）を添付してください。
- 提出書類に虚偽の記載があることが判明した時は、入学許可を取り消すことがあります。
- 提出された書類は原則返却いたしません。

## 書類送付上の注意

- 提出書類は出願登録時に出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼付した任意の角2封筒に入れて、必ず郵便局窓口から簡易書留（速達）で郵送してください。
- 特別な事情により持参提出を希望する場合は、事前に女子美入試センターまでご相談ください。  
☎042-778-6123

## 書類送付締切

第Ⅰ期 2020年 9月24日（木） 必着  
（第Ⅱ期 2021年 1月25日（月） 必着）

## 書類送付先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美入試センター  
※アート・デザイン表現学科の試験場とは異なりますので注意してください。

## 受験

- 1次審査通過者は2次審査を受験することができます。
- 2次審査は状況により2日間に分けて実施する場合があります。その場合は1次審査の選考結果通知にてお知らせします。

### ■ 1次審査

**審査** 提出書類により総合的に判定します。

### 結果通知

以下の日程で、出願者全員に選考結果通知を郵送します。  
第Ⅰ期 2020年 10月 1日（木）  
（第Ⅱ期 2021年 2月10日（水））

### ■ 2次審査

#### 試験日

第Ⅰ期 2020年 10月11日（日）※状況により10月10日（土）にも実施する場合があります。  
（第Ⅱ期 2021年 2月28日（日））

#### 試験場

学科により異なります

- 美術学科、デザイン・工芸学科 相模原キャンパス（神奈川）
- アート・デザイン表現学科 杉並キャンパス（東京）

#### 試験科目・時間

体験プログラム・課題等持参による面接

10:00～16:00（終了時間は予定です。受験者数により前後します。）

※持参課題、体験プログラム内容、持参物は専攻・領域により異なりますので、次ページ以降の一覧表で確認してください。

※当日の集合時間など、連絡事項を受験票に記載しますので、印刷した受験票を必ず確認してください。



## 受験上の注意

- 試験実施の前日はキャンパス内に入ることできません。
- 試験当日は、A4サイズの用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。
- 試験に関する伝達事項は、主として本要項と当日配布するプリントによるほか、掲示で行います。
- 正門の開門時間は**8:00**です。試験場への入場時間は試験当日に確認してください。
- 遅くとも試験開始の30分前までには来校してください。
- 遅刻・退場については大学の指示に従ってください。
- 定められた期日までに書類の提出がなかった場合や、体験プログラムまたは面接試験のいずれかを受験しなかった場合は失格となります。
- 失格後の受験は一切認めません。
- キャンパス内および周辺には駐車できません。
- 試験当日、学生食堂は営業しておりません。昼食を持参してください。
- 特別な理由がない限り、付き添いの方の学内への立ち入りはできません。

※インフルエンザや新型コロナウイルスなど、学校保健安全法施行規則が規定する感染症に罹患した場合、出席停止期間は本学の入学試験を受験できません。検定料の返還および追試等の特別措置は予定しておりませんので、感染症予防（手洗い・うがい・外出時のマスク着用など）に気を配り、体調管理に努めてください。

試験当日は、マスクの持参・着用をしてください。また、試験会場では消毒液を準備しますので、必要に応じて手指の消毒を行ってください。

## ■持参課題・体験プログラム内容・試験当日の持参物

### 美術学科

●洋画専攻	
課題	以下のテーマで作品を1点制作する テーマ：「日常をみつめる」 *サイズはF8号大（45.5cm×38.0cm）（B3サイズ程度） *鉛筆、木炭、ペンなどを使用して白紙に白黒で描くこと
体験プログラム	持参課題作品講評・実技体験（鉛筆デッサン・作文）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品</li> <li>・日頃制作している作品やデッサンなど（大きさ10～30号程度2点）</li> <li>・ポートフォリオ（A4ファイル）1冊</li> </ul> *ポートフォリオは、油彩、アクリル、水彩、デッサン、クロッキーなどの作品写真および実物作品10～30枚程度をA4サイズのファイルにまとめたもの

●日本画専攻	
課題	以下A・Bそれぞれの条件で静物画を描く（点数は自由） モチーフ：りんごと金属製の道具（やかん、お玉など） <条件> A：モチーフを良く観察して着彩する B：モチーフを基に自由な発想で描く *サイズはF8～F10号程度
体験プログラム	実技体験（鉛筆デッサンまたは水彩画）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品</li> <li>・これまでに制作した作品を5点以上</li> <li>・水彩画やデッサンなどの作品をまとめた制作ファイル1冊</li> </ul>

●立体アート専攻	
課題	以下①・②を制作する ①A3またはF6号以上のサイズの鉛筆または木炭デッサン2点（モチーフは自由） ②手に持てる大きさの立体作品1点（素材自由）
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション・作文
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品</li> <li>・日頃制作している作品や資料ファイル</li> </ul>

●美術教育専攻	
課題	以下の①または②のどちらかを選択 ①「鉛筆デッサン」か「水彩画」2点 モチーフ：静物（大きさは問わない） ②「小論文」 テーマ「めざす美術教師像」 800字程度（400字詰原稿用紙2枚）で記述する
体験プログラム	実技体験（水彩画）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題（作品または小論文）</li> <li>・これまでに制作した作品（水彩画・デッサンなど3点程度）やレポートなどの参考資料</li> <li>・水彩用具一式</li> </ul>

●芸術文化専攻	
課題	あなたの住む地域（市区町村）で、伝統的と思えるモノ（またはコト）と、新しいと思えるモノ（またはコト）をそれぞれ取り上げて、その地域の魅力や特色について発表する準備をする。 発表方法：一人15分程度で、画像および発表資料を使って行う。
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表内容をまとめた要旨</li> <li>・発表に必要な資料 [パソコンを使用して発表する場合] 使用する資料はデータにし、USBメモリなどのICメディアに入れて持参すること。 *パソコンは大学で用意します。</li> <li>[印刷した資料を基に発表する場合] A4サイズ以上の紙に印刷して持参すること。</li> <li>・その他自分自身の活動を説明できるような資料</li> </ul>

## デザイン・工芸学科

●ヴィジュアルデザイン専攻	
課題	以下のテーマ・条件で作品を制作する（点数は自由） テーマ：「顔」 〈条件〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面の中に、タイトルを入れること。</li> <li>・用紙サイズ：B3</li> <li>・表現方法（具象、抽象、画材、手法等）は自由。</li> </ul>
体験プログラム	実技体験（プレゼンテーション）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品</li> <li>・これまでに制作した代表作品や作品ファイル（内容・点数は自由）</li> </ul>

●プロダクトデザイン専攻	
課題	『夏を快適にする“モノ”』というテーマから、各自が自由に発想し、その『モノ』の「アイデア」や「イメージ」を、スケッチや図、文章などで、以下1～5の条件内で、自由に表現する。 〈条件〉 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発想する「モノ」はテーマ内で自由に設定する</li> <li>2. 表現技法は自由とするが、必ずフリーハンドで、F6サイズのスケッチブックに描く（写真や印刷物の貼付は不可）</li> <li>3. 表現画材（鉛筆、マーカー、色材・・・など）は自由とするが、厚みが出るものや、極端に汚れるものは避けること</li> <li>4. 各ページの右上部に、作業をおこなった日付を明記する</li> <li>5. 必ず、自分だけの発想、表現作業でおこなう</li> </ol>
体験プログラム	実技体験（デザイン実習、プレゼンテーション、ディスカッション）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品</li> <li>・各自の制作した作品や写真ファイル（鉛筆デッサン・平面構成・立体構成など内容・点数は自由）</li> <li>・鉛筆、消し具、カッター、定規</li> <li>・その他課題のプレゼンテーションに必要なと思う道具があれば持参する</li> </ul>

●環境デザイン専攻	
課題	以下①または②のどちらかを選択して制作する。 ①自宅の周辺にある建物で、興味・関心がある建物（住宅・集合住宅でも寺社、駅舎、美術館等の公共建築でもよい）を1点選択し、考察レポート（簡単なスケッチもしくは写真を含む）を作成。 ②近くの商店街にあるショップ・飲食店（カフェ、レストラン等）・空間ディスプレイで、興味・関心がある店舗を1点選択し、考察レポート（簡単なスケッチもしくは写真を含む）を作成。 ＊①②ともに室内および外観どちらでも可。 ＊スケッチ等の表現は鉛筆または着色等自由。 ＊サイズはA3程度とする。
体験プログラム	実技体験（デザイン実習）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品</li> <li>・これまでに制作した作品や写真ファイル（内容・点数は自由）</li> </ul>

● 工芸専攻	
課題	<p>《鉛筆デッサン》</p> <p>① B4画用紙を縦位置で使用し、ユリの花を1輪描く。(1点)</p> <p>② B4画用紙を縦位置で使用し、トイレットペーパー(無地白地のもの)を描く。(1点)</p> <p>* 巻きを先端20cm程ほどいて配置し描くこと。</p> <p>《彩色課題》</p> <p>B4ケント紙を横位置で使用し、ストライプを描く。(1点)</p> <p>注意: はじめにB4ケント紙の中央に、縦6cm、横25cmの長方形を配置しなさい。</p> <p>次に、その長方形の中に「未来」のイメージで、縦の直線ストライプのみを用いて色彩構成しなさい。</p> <p>また、以下のことを厳守すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5色以上使用すること</li> <li>・ 分割した面は1色で塗ること</li> <li>・ 曲線を使用しないこと</li> <li>・ 面の中に、絵画的な表現をしないこと</li> </ul>
体験プログラム	実技体験(鉛筆デッサン)
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題作品</li> <li>・ これまでに行ってきた活動や、作品などの要点をまとめたファイル1冊(A4ポケットファイル)</li> <li>* 作品数は10点までとする。</li> <li>・ 鉛筆(硬軟各種)、消し具</li> </ul>

## アート・デザイン表現学科

● メディア表現領域	
課題	<p>「未来」をテーマに制作した作品1点</p> <p>* 表現方法、表現手法、表現、作品サイズ・形体媒体は自由。</p>
体験プログラム	実技体験(メディア表現実習)
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題作品</li> <li>・ 自分自身の活動を説明できる代表作品や作品ファイル(種類・形式・点数は自由)</li> </ul>

● ヒーリング表現領域	
課題	<p>《課題1 文章課題》</p> <p>日本の現代社会では、様々な状況下で人に与える「継続的な重いストレス」が問題視されています。こうしたストレス社会においてアートやデザインは、どのような役割を果たし、何ができるのか、その可能性についてあなた自身の考えを自由に述べ、A4サイズの用紙に800字程度でまとめなさい。</p> <p>《課題2 企画または作品表現》</p> <p>あなた自身が企画側や表現者の立場になって、「現代社会においてストレスを軽減するためにアートやデザインが果たす役割と具体例」について考えてみてください。</p> <p>その場合、どのようなアートやデザインが必要か、そしてそれをどのように使うかを検討し、具体的な企画提案または作品によって表現しなさい。</p> <p>* 企画案の場合の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① B3イラストボードに表現。企画内容、イメージが伝わる図を必ず入れなさい。</li> <li>② 表現材料は、アクリル絵具、ガッシュ、色鉛筆、マーカーなど自由とします。</li> <li>③ 必要に応じて説明文を入れなさい。</li> </ol> <p>* 作品の場合の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 平面表現、立体表現その他自由に表現しなさい。</li> <li>壁画など実際は大きなサイズになる作品は、縮小した原画の提示で可とします。</li> <li>② 素材は自由です。</li> <li>③ 簡単なコンセプト文(B5サイズ)を添付しなさい。</li> </ol>
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション、企画課題制作
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題1 および課題2</li> <li>・ 自分自身の活動を説明できる代表作品や作品ファイル</li> <li>・ 鉛筆、色鉛筆12色～24色</li> </ul>

●ファッションテキスタイル表現領域	
課題	<p>以下の手順に従って「自分が身につける装身具（アクセサリ）」を制作し、10分程度でプレゼンテーションを行う準備をする。</p> <p>①制作するアイテムは、以下a～dから1つ選択する。 a：お面 b：帽子 c：マスク（鼻、口を覆うもの） d：冠</p> <p>②制作のためのコンセプトシートを作成する。 * F10～F5サイズ程度のスケッチブック、または、PC・タブレットなどにまとめること。（10ページ以内） * 装身具の歴史や意味、着装することでの心理的効果など、調査した内容や、自身の考察について記述すること。 * 他の候補作品を含めてデザイン画を4点入れること。 * 着彩のための画材は色鉛筆、アクリル絵の具など自由とする。 * デザイン画の余白に素材感や感じたこと、説明などのメモも記載すること。</p> <p>③作品を制作する。 * 素材、サイズ、形、技法は自由とするが、身につけるものなので、身体を傷つけない素材を使用すること。</p> <p>④制作後の振り返りレポートを作成する。 * 完成作品を身につけた写真を添付すること。 * 制作時の考え、理由・意味を、以下1～5の項目に沿ってまとめ、A4レポート用紙に手書き、またはPC・タブレットを使用して、各項目100～200字程度で記述すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 何のためのデザインか（目的）。</li> <li>2. なぜ、その形にしたのか。</li> <li>3. なぜ、その素材にしたのか。</li> <li>4. なぜ、その方法（技法）で制作したのか。</li> <li>5. 完成した作品を身につけた時、自分の気持がどのように変化したか。</li> </ol>
体験プログラム	実技体験（テキスタイルデザイン実習、プレゼンテーション）
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した課題作品の実物（1点）</li> <li>・コンセプトシート</li> <li>・振り返りレポート</li> <li>・自分自身の活動を説明できる代表作や作品ファイル（種類・形式・点数は自由）</li> </ul>

●アートプロデュース表現領域	
課題	<p>これまで最も力を入れて活動してきたこと（学校の授業以外）について、5分以内でプレゼンテーションできるよう準備すること。 * 表現方法は自由。</p>
体験プログラム	事前課題の発表およびディスカッション
持参物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のプレゼンテーションに必要なもの（CD、DVDを再生できる機材は大学で準備可）</li> </ul>



# 合格発表

**発表日** 第Ⅰ期 2020年11月2日(月) 10:00  
第Ⅱ期 2021年3月4日(木) 10:00

※発表時間は状況により遅れる場合があります。

- 合格者全員に合格通知と入学手続書類一式を郵送します。不合格通知は発送しません。
- 合格発表時間より、インターネットによる「合否案内」での簡易発表を行います。
- 合否について本学へ直接の電話によるお問い合わせには、お答えできません。
- 学内の掲示発表は行いません。
- 合格者で、入学手続書類が発表日の翌々日を過ぎても到着しない場合はお問い合わせください。  
(ただし、それ以外のお問い合わせにはお答えできません。) ☎042-778-6611

**【注意】**

合格した方は、本学の他入試への出願はできません。

## 「合否案内」 について

「合否案内」は正式な合格通知の補助的な手段として、インターネット（パソコン・スマートフォン）で合否結果を確認できるサービスです。  
下記URLへアクセスしてください。

<https://www.gouhi.com/joshihi/>



**（利用可能時間）**

合格発表が午前の入試→発表時間から当日 24:00 まで

合格発表が午後の入試→発表時間から翌日 24:00 まで

**（利用上の注意）**

- 「合否案内」は合否確認の補助的な手段です。正式には本学からの合格通知をご確認ください。
- インターネットに接続したパソコンおよびスマートフォンから利用することができます。  
ただし、パソコンのブラウザ、スマートフォンの機種によっては、表示できない場合があります。
- 定められた日時以外は利用できません。  
利用日時や利用方法をあらかじめ確認の上、ご利用ください。
- 利用の際は、受験番号・生年月日が必要です。
- 発表直後はつながりにくい場合があります。  
つながらない場合は、しばらくしてから再度アクセスしてください。

## 入学手続

締切日までに所定の書類を提出し、入学手続時納入金（下表①）を指定銀行口座にお振込みください。  
この手続きが完了した後に入学許可書を郵送します。

\*入学手続書類は合格通知に同封します。

\*参考として2020年度の学費を記載しますが、2021年度については若干の変更がある場合がありますので、合格通知に同封する「入学手続の手引き」で再度ご確認ください。

締切日 第Ⅰ期 2020年11月16日(月)  
第Ⅱ期 2021年 3月11日(木)

学費 初年度納入金（2020年度参考）

(単位：円)

学科	専攻・領域	入学金	前期授業料・ 施設設備料等	①入学手続時納入金 (入学金+前期授業料等)	②後期授業料等 納入金合計	初年度納入金 (①+②)
美術学科	洋画	220,000	847,260	1,067,260	837,100	1,904,360
	日本画		833,760	1,053,760	823,600	1,877,360
	立体アート		849,760	1,069,760	839,600	1,909,360
	美術教育		833,260	1,053,260	823,100	1,876,360
	芸術文化		833,260	1,053,260	823,100	1,876,360
デザイン・ 工芸学科	ヴィジュアルデザイン	220,000	839,160	1,059,160	829,000	1,888,160
	プロダクトデザイン		843,160	1,063,160	833,000	1,896,160
	環境デザイン		839,160	1,059,160	829,000	1,888,160
	工芸		843,160	1,063,160	833,000	1,896,160
アート・デザイン表現学科 (各領域共通)		220,000	853,260	1,073,260	833,100	1,906,360

※アート・デザイン表現学科については、個人用のノートパソコンに係る経費として、在学中毎年度徴収している  
¥49,000（初年度¥10,000）を含めて表記しています。なお4年間在学した学生には、卒業時に譲渡します。

※後期納入金の納入期日は、入学年度の10月5日となります。

※次年度以降の学費については、社会経済情勢等に応じて改訂されることがあります。

## 入学前課題

第Ⅰ期で入学手続が完了した方には、入学許可書とともに入学前課題を郵送しますので、入学までの期間を有意義に過ごしてください。

課題内容は専攻・領域ごとに異なります。

また、入学予定者のうち希望者を対象に入学前デッサン講座を実施します。



## その他

**宿泊** 本学では入試の際の宿泊施設等のご案内・受付は行っておりませんので、宿泊を必要とする方は、各自でご手配ください。

**入学後のキャンパス** 【美術学科、デザイン・工芸学科】 4年間 相模原キャンパス（神奈川）で学びます。  
【アート・デザイン表現学科】 4年間 杉並キャンパス（東京）で学びます。

**入学後の住まい** 遠方より入学され自宅通学が困難な方に対し、安心して学ぶことのできる居住空間の提供と経済的な負担軽減を目的として住まいのケアを行っております。  
申込手続等詳細については、入学手続書類に同封します。

**個人情報保護について** 「学校法人女子美術大学個人情報保護に関する基本方針」に基づき、資料請求および出願書類等への記入においてお知らせいただいた皆様の氏名、住所、電話番号、学校名、学年その他、個人を特定できる情報（個人情報）については、適切に取り扱います。  
なお、ご提出いただいた個人情報は入学試験選考、合否の連絡、入学手続、統計・調査、およびこれらに付随する業務のために利用いたします。  
※本学における個人情報の保護に関する基本方針は本学WEBサイトにおいてご確認くださいこともできます。

**寄付金等の募集について** 本学では、寄付金等の募集については、入学前には一切行っていません。従いまして、寄付金等の納入を条件とした入学許可は行っていません。保護者の皆様からのご寄付は任意であり、本学の教育環境の充実等に向けた募金の趣旨にご賛同いただいた方にご協力を賜ることにしております。入学後にあらためてご依頼いたしますので、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

**「ニケの会」について** 「女子美術大学ニケの会」は、学生の保護者が中心となり、大学と協力して、学生生活の向上と大学の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦と教養を深めることを目的に活動しています。

**授業料減免制度** 大規模自然災害被災学生および私費外国人留学生に対する減免制度があります。

**奨学金制度** 奨学金制度には大きく分けて学内奨学金と学外奨学金の2種類があります。

### 1. 学内奨学金

本学では学生の学業継続を援助し、優秀な人材の育成に資するため、各種奨学金（給付型）制度および授業料等免除等により、様々な経済支援を行っています。

### 2. 学外奨学金

学外の団体等によって運営されている奨学金制度です。対象、応募方法、募集時期は設置団体によって異なりますが、それぞれの条件にあてはまる場合にのみ応募できます。

こうした団体の代表的なものとして「独立行政法人 日本学生支援機構」があります。

なお、日本学生支援機構奨学金には、高等学校3年次に申込み、大学入学後5月から奨学金の貸与・給付が可能な「予約採用」制度があります。在学中の高等学校にお問い合わせください。

※本学は「高等教育の修学支援新制度（授業料・入学金の免除または減額と返還を要しない給付型奨学金）」の対象機関として認定されています。

申請については、高等学校もしくは入学後に本学においても可能です。

**提携教育ローン** 奨学金制度のほかに、本学学生（入学予定者を含む）を対象とした金融機関提携の「女子美提携教育ローン制度」があり、市中金融機関の教育ローンより低金利となっています。

**国の教育ローン** 日本政策金融公庫が行っている公的融資制度です。

※奨学金・教育ローン等詳細については、本学WEBサイトに掲載の「[奨学金制度](#)」をご覧ください。